



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630



石 叫

◎石叫 ■ 「新島襄」④

その後、各方面からの有志者の寄付があいついで申し込まれ、私がかねてから胸中に抱いていた志を、実現することができただけの基本金が、ほぼできたので、そこで私はサンフランシスコを出帆して、明治七年の末、祖国に帰ってきたのである。そうして、学校設立について、日夜計画をすすめていたところ、翌明治八年一月に偶然にも大阪で内閣顧問、木戸孝允公にお目にかかった。その際、私は公に向かつて、まことの教育に関する、大切な眼目について説明し、かつ平素からいだいでいるところの私の志望を、はばかりではなく、公は私が在米のとき以来、よく知っておられたので、政府当局者にも、もっぱらあつせんを労をとられて、私の志を達せしめるよう尽力せられた。かようにして、私は創業の地を京都に選び、前文部大輔・田中不二麿氏や、前京都府知事・榎村正直氏らの賛助をえ、最後に山本覚馬氏(八重子の兄)と結社し、明治八年十一月二十九日をもって、公然と私立学校設立の認可をうけ、直ちに英学校を開いた。すなわちこれが現在のわが同志社の設立するにいたった事情の大略である。

新島は四十七歳で召されたが、最期の言葉は「狼狽するなかれ、グッドバイ、また会わん」であったという。妻の八重子とは夫婦仲がとも良かった。新島が榎村正直に会った際、榎村は自分の元に女学校の補助金を増やすよう度々直訴に訪れる女性、山本八重子を紹介。後日八重子の兄山本覚馬の家で偶然、井戸に腰をかけ裁縫をしている八重子に目を止め、その危なげな姿に心引かれる。アメリカの友人への手紙で「彼女は見た目は決して美しくはありません。ただ、生き方がハンサムなのです。私にはそれで十分です」と綴っている。

同志社が設立されるためには、先の老農夫、老婆の尊い献金が土台となっている。それはルカ福音書の「貧しいやもめが、レプタ二つを入れるのを見て言われた『よく聞きなさい。あの貧しいやもめはだれよりもたくさん入れたのだ。あの婦人は、その乏しい中から、持っている生活費全部を入れた』(二一・二)」という話に似ている。二レプタとは一セントにもならない額である。でも、それがこの女性の全ての財産だったのだ。全てを捧げて神に感謝をささげ、神に頼って生きたいという信仰が、彼女をしてそうさせたのだ。新島もこの二人の熟年者に会った時、この二レプタの話を思い出していたに違いない(完)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」
 オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。
 私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

